

第4回 清川歴史公園 関所まつり開催

お子さん連れのご家族などで賑わう！

富樫町長と斎藤副議長を来賓にお迎えして開会式を行いました。

【開会式】

紙甲冑をつけて記念撮影



十月二十六日（日）に「第四回清川歴史公園 関所まつり」を開催しました。毎年恒例の御殿茶屋による新そばまつりや抹茶提供、紙甲冑着付け体験の他、今回は清河八郎記念館で開催中の企画展「西遊紀事 清河八郎出島への旅日記」と連動したギャラリートークを初開催するなど多彩な催しをご用意しました。

お召し上がりいただいた方からは「新そば美味しかったです。コシが強くて、さすがだと美味しいました」「そばつゆの味も美味しかったです」などお褒めの言葉をいただきました。

【御殿茶屋 新そばまつり】
御殿茶屋では、「新そばまつり」と銘打つて、人気の手打ちそばや麦きり、そばぜんざいを提供しました。

雨天の為、館内で開会式



大好評の手打ちそば
【御抹茶と上生菓子で一服】
館内では御抹茶とあづまや菓子舗さん製造の上生菓子を提供しました。

【御抹茶と上生菓子で一服】
当日は生憎の空模様となりましたが、大勢のお客様にご来場いただき、会場は活気にあふれました。



御抹茶と上生菓子を提供

当日は生憎の空模様となりましたが、大勢のお客様にご来場いただき、会場は活気にあふれました。

また前々日には、YTS山形テレビによる生中継で清川関所や関所まつりを紹介していただき、多くの方に関心を寄せていただく機会となりました。



清川歴史公園 かわら版

回
覧

■発行所

○清川歴史公園
管理運営委員会

□庄内町
立川総合支所
立川地域振興係
TEL:0234-56-2217

□庄内町
「清河八郎」大河ドラマ誘致協議会

□庄内町教育委員会
社会教育課
TEL: 0234-43-0194



早朝に、京都を出発する。宿舎の主人沢渡精斎（画家。内蔵寮の史生）の夫人時子が壮行の杯を勧める。三杯飲みほしてから、辞謝して出かけ来る。ハ木氏の家族が見送りに就いて、道を東洞院に取り、六条に至つて、舟を求め、高瀬川に浮かぶ。待得秋風發鳳城、稻波濤々送孤行、秋風を待ち得て、稻波濤々として、鳳城を發する。遙かに憂ふ萬里、爺娘感、遙憂萬里爺娘感、萬里爺娘の感ふ。

今回は、令和六年九月に発刊した「清河八郎関係日記一」中の『西遊紀事』編から、一部抜粋して掲載します。



「清河八郎関係日記」
『西遊紀事』より

庄内町史資料第七号

「七絶。韻字、城・行・情。」
「爺嬢」は、父母を言う唐代の俗語で、杜甫の「兵車行」に「爺嬢妻子走りて相送る」とある。流れに従つて下るが、日光が舟を射て、その炎威に苦しむ。昼前に伏見港に到り、八百佐に入り、食事を命ずる。舟を買って、淀河を下ろうとして、暫く待つ。午後一時頃、船頭が準備良しと告げ、纜を解いて、右に山崎を望み、左に八幡を視て、下る。山勢は険しく、林の表には堂の尖端が

翠色鮮やかな者を、千両松という。
紀州藩主が嘗て之を愛し、この名で評価した。これより前に詩を作った。

長堤十里水雲清
長堤十里水雲清し
两岸秋風度蟬声
两岸の秋風度蟬声
欸乃歌休眠漸熟
欸乃歌休みて眠り漸く熟し
蓬窓夢遠故園情
蓬窓夢遠故園の情
夢は遠し
夢は遠し
故園の情

明治維新の魁 清河八郎

－幕末の扉を開いた 草莽の志十一－

YouTube でご覧いただけます



好評販売中 !!
庄内町史資料第七号
清河八郎關係日記二



販売価格
1,400円

お求めは、
庄内町社会教育課
(Tel 0234-43-0183)
までご連絡ください。
※清河八郎記念館、
清川関所でも販売し
ています。(3~11月)

秋風が立つのを待つて京都を
出發した。稻がざわざわと波立
つて、一人旅を送るかのようだ。
万里の遠き故郷にある父さ
ん・母さんがさぞ私を心配して
いるだろうと沈み込むが、夜中
の夢に見る感情は、なかなか表
わしたい。

見える。明智光秀が誅に伏し、羽柴秀吉氏が霸を得るきつかけとなつた所で、今もなお恨みが残るようだ。松を数回取ると、京都はもう後方の山裡に没している。

淀城に至れば、松に囲まれた城郭が淀城に臨み、緑陰が藪を掩つていい。舟で過ぎると、水車が大層多い。中で淀城に懸る者が最大である。舟は橋本に至り、右を顧みると、松堤が連なり、朦朧として果てが見えない。中で最も蟠かまつて、

堤が長々と十里も続き、水や雲は
清らかだ。
両岸には秋風が吹き、蝉の声が響き
渡る。
船頭歌が止んで、次第に眠りに入
り、苦舟の窓辺で遠く故郷の夢を見
ることだ。
（七絶。韻字、清・声・情）
第二句は、護園派の文人の領袖たる
服部南郭（萩生徂徠門人）の有名な
七絶「墨水（墨田川）を下る」の「両
岸の秋風二州を下る」を踏まえ
る。

歴史講座 in 清川（第2回・第3回）開催

今年度開催中の企画展示「激動の幕末維新～庄内が見た戊辰戦争と明治天皇東北巡幸～」に合わせて、九月十八日（木）と十一月十八日（火）に歴史講座 in 清川を開催しました。

両日とも庄内地域のみならず、内陸方面から多くの方にご参加いただきました。また講座終了後には、まち歩きを交えた歴史散歩もお楽しみいただきました。



十一月十八日(火)の第三回講座では、上山郷土資料館の長南伸治学芸員を講師にお迎えし、「戊辰戦争期の庄内藩・上山藩の動向」と題して、官軍と奥羽越列藩同盟側の動き、また明治以降に繰り広げられた評価論争について、豊富な史料をもとに分かりやすくお話しいただきました。

今年度の歴史講座はこれで終了となります。来年度も開催できるよう準備を進めます。



明治十四年（一八八一）九月に行われた「明治天皇の東北巡幸」について、酒田市に残る「飽海郡役所」史料から庄内における巡幸の姿を解説いただき、人々が天皇をお迎えする準備に奔走した様子がよく分かりました。

今年一年を振り返つて

今年のまち歩きは十一月十八日で終了となりました。夏は熱中症警戒アラートが何度も発令され、まち歩きも日陰を選んで歩いたり、また水分補給に気を使つたり、色々と気を配ることが多かつたようです。

秋には、熊出没情報が多発し、清川地区内でも目撃情報が出されました。ガイドの時は熊鈴を持ち、クラッカーを鳴らしたりして、予防対策を致しました。無事一年の活動を終えることが出来良かつたと思います。

今年のガイド回数は十八件で、その内四件は県外からのお客様でした。また、目的で特長的だったのは「戊辰戦争清川口の戦い」でした。歴史講座でテーマとしたことも理由のひとつだと考えられます。戦いが終わってから百五十年以上を経て

【会員募集】

私たちと一緒に清川を案内する仲間になりませんか。

お客様と一緒にまち歩き（ウオーキング）は健康にも良いです。

も、人々の関心を引く歴史的事実は、清川の素晴らしい財産だと感じました。

来年度も沢山のお客様を迎えられることを期待したいと
思います。

きよかわ観光ガイドの会



官軍の本陣・腹巻岩

〔お問合せ〕 清川関所（電話〇三三四一三五一五八八五）

きよかわマルシェ＆なんどろ夜市

十月四日（土）清川グラウンドおよび清川関所周辺にて「きよかわマルシェ＆なんどろ夜市」を開催しました。



きよかわマルシェ・昼の部

会場にはキッチンカーやテントブースが並び、台湾料理、焼き鳥、スイーツなど多彩なメニューが並んで大いに賑わいました。パフォーマンスの披露やクラフト・小物の販売なども行われ、訪れた皆さんが思い思いに楽しむ姿が見られました。



ヒバリズの演奏を楽しむ人々

また夕方五時からは「竹灯籠」の柔らかな灯りが関所周辺を彩り、庄内を中心に活動される「ヒバリズ」のおふたりによる音楽演奏とともに幻想的な夜の雰囲気をつくり出しました。

清川関所玄関前の竹灯籠



九月二十四日（水）から二十六日（金）まで、清川地区の住民の皆さまを対象に、毎年恒例の「感謝デイ」を開催しました。

今回は、読み聞かせ活動をされている皆さんによる絵本朗読や、庄内地域で大正琴を演奏されている「はなみずき」の皆さんによる演奏を行いました。

【清川地区感謝デイ開催】

一地域の皆さまと音楽と読み聞かせ・食事を楽しむ



大正琴の演奏を楽しむ

また、御食事処「御殿茶屋」からは東風そばや温かい肉そば・肉うどんを提供し、会場にお越しいただいた皆さまとともに、懐かしの昭和歌謡や童謡を合唱しながら、和やかなひとときを過ごしました。

温かい肉そば



【冬期休業のお知らせ】

三月一日より営業再開

清川歴史公園は十二月一日（月）から翌年二月二十八まで冬季休館となります。三月一日より営業を再開いたします。皆さまのご来所を心よりお待ちしております。